

「圏央道の宝物グランプリ 2022-2023」準グランプリ受賞企業が市長を表敬訪問します

千葉市及び千葉市産業振興財団が創業支援を行う増一屋合同会社（吉田淳子代表）が、しんきん圏央道アライアンスが主催する「圏央道の宝物グランプリ 2022-2023」の新体験部門において、準グランプリを受賞されました。

このたび、その報告のため、市長を表敬訪問しますので、お知らせします。

1 表敬訪問**(1) 日時**

令和5年3月16日（木） 15:00～15:20

(2) 場所

市役所（新庁舎）高層棟4階 市長応接室

(3) 受賞者

ア 法人名 ますいちや 増一屋合同会社

イ 住所 千葉市中央区富士見1-14-13
千葉大栄ビル8F

ウ 代表者 よしだじゅんこ 吉田淳子

エ 事業概要 令和3年に千葉市で創業。「持続可能な世界を食から考える」を基本理念とし、代替肉を使っておいしいと感じていただけるクオリティを目指した大豆ミートメニューを製造販売する。



準グランプリ受賞時の写真
(写真中央が吉田代表)

2 受賞概要**(1) 受賞部門**

圏央道の宝物グランプリ 2022-2023 新体験部門

(2) 受賞商品

まるでお肉！なチキンサンド

(3) 商品の特徴

見た目も食感も鶏肉のように再現された、大豆ミートサンドイッチ。

「大豆ミートはおいしくない」という固定観念を払拭すべく、味にこだわって作られました。サスティナブルフードを通して、食から持続可能な社会づくりを目指します。



受賞作品（まるでお肉！なチキンサンド）

3 取材について

取材を希望される方は、3月15日（水）12:00までに会社名、申請者名、連絡先を記載して、産業支援課へメールでご連絡ください。

【メール】 sangyo.EAE@city.chiba.lg.jp

<参考1>圏央道の宝物グランプリ 2022-2023 について（2020年度から開催）

- ・圏央道沿線地域の生産者・製造事業者等が集い、業界を超えた対話型セミナーを通じて、自社商品のブラッシュアップや、参加者同士のコラボレーションによる新商品開発に取り組んでいる。
この成果を披露する場として、1都4県（水戸信用金庫、埼玉縣信用金庫、千葉信用金庫、平塚信用金庫、多摩信用金庫）の信用金庫が連携して、事前審査会を通過したチームによるプレゼンテーション型の本グランプリを開催している。
- ・部門ごとに、外部有識者による「品質」「人物」の二軸による評価を受け、「圏央道の宝物」としてふさわしい商品が表彰を受ける。
- ・エントリーした商品の特徴に応じて4つ程度の部門を構成。2022年度は「新体験部門」「スイーツ部門」「コミュニティ部門」「和素材スイーツ部門」計4部門で実施。
- ・今回は、2022年11月29日に信金中央金庫京橋別館3階（東京都中央区）で開催され、増一屋合同会社が新体験部門で準グランプリを受賞されました。

※にっぽんの宝物グランプリ JAPAN 大会（圏央道の宝物グランプリ上位大会）

令和5年2月23日、24日に開催されたグランプリ JAPAN 大会におきまして、増一屋合同会社は、「ヘルシー部門」特別賞（ナイスチャレンジ賞）を受賞。

<参考2>千葉市及び千葉市産業振興財団の増一屋合同会社への支援

- ・財団の新規市場開拓支援事業の助成金を活用し、Foodex Japan 展示会へ出展。ブースには2,300人以上の方が立ち寄り、商談希望は130件の成果
- ・新規メニュー開発費用の調達及び自社ECサイト立上げにあたってブランド周知のため、千葉市クラウドファンディング活用支援補助金を活用
- ・ブランディング戦略の立案にあたり、財団の産学合同技術シーズ交流会に課題を提供し、デザイン経営の視点からの取組みについて、千葉工業大学とのマッチングによる産学連携支援を活用
- ・女性の創業機運の醸成を目指し財団が開催している女性起業家フェスタ in CHIBAに「サステナブルフードの製造・販売」をテーマに登壇及び展示ブースを出展
- ・スタートアップ都市推進協議会が主催する「JAPAN START UP SELECTION-the 9th Edition-」に千葉市代表スタートアップ企業として、登壇及び展示ブースを出展
- ・千葉市及び千葉県産大豆による地域ブランド大豆ミートの商品化を計画しており、今後も継続して支援する。